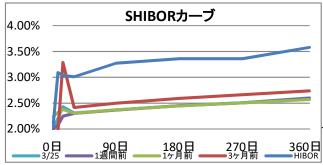
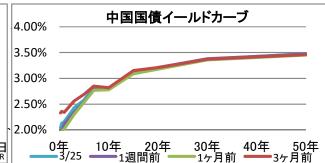
セントラル短資中国金融市場凋報 (2022年3月21日~2022年3月25日)

基準レート		2022/3/25	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3739	+0.0314
	JPY/CNY	5.2104	-0.1359
SHIBOR	3M	2.3690%	+0.0010%
国債利回り	10年	2.80%	+0.01%
上海総合指数		3,212.24	-38.83





(1) 概況

国際金融市場は、ウクライナ情勢や欧米の金融政策等、材料は多いものの先行き不透明感から方向感に乏しく、株式市 場と為替市場は概ね横ばい推移となる中、債券市場ではインフレや金融引き締め懸念の高まりから利回りが大きく上昇す る展開となった。

中国金融市場では、国際金融協会(IIF)も指摘するロシアのウクライナ侵攻に起因する更なる米中関係悪化への懸念に よる国外投資家動向への影響に加え、米国株式市場に上場されている中国企業の監査情報に関する問題等が懸念されたも のの、中国政府の金融財政両面での景気支援策への期待から安定推移。

中国では、全人代決議に基づき、政府活動報告重点活動分担意見や市場参入ネガティブリスト(2022年版)発布されて いる。金融関係では、資本の無秩序な拡大や投機の防止を強調しつつ、弾力的な金融政策による合理的な水準の流動性供 給とマクロレバレッジ水準を維持した新規貸出増加と顧客の借入コストや手数料負担の軽減を実現し、デジタル化推進と デジタル化に即した監督制度改革や中小銀行ガバナンス強化、不良債権処理加速、資本市場の安定的発展を促進し、対外 開放と輸出企業や外資の発展を支援する、との内容となっている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ1,900億元を実施し、差し引き500億元を供給 している。

(3) 主な経済指標

・<u>工業利益(1-2月)</u>は、営業収入が前年同期比+13.9%(12月、同+12.3%)、利益は同+5.0%(同+4.2%)と、い ずれも加速。利益については、業種では鉱業が大幅な増益となる一方で製造業や発電等が減益となり、所有形態では国 有企業が増益となる一方で、外資や民営企業が減益となっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD
	SHIBUR	無担休貝並		AAA
ON	2.0010%	1.8500%	1.8000%	
1W	2.2070%	5.4500%	1.9800%	2.4800%
2W	2.4330%	2.5000%	3.3000%	2.5000%
1 M	2.3100%	4.5000%	7.5000%	2.4500%
3M	2.3690%	4.5000%	2.8000%	2.4200%
6M	2.4520%	3.8000%		2.4600%
9M	2.5090%	2.9000%		2.5200%
12M	2.6030%	2.7400%		2.6100%

四半期末を控えているものの、資金需給は安定して おり、中国人民銀行による金融緩和や四半期末の資金 供給への期待は根強く、金利上昇は限定的となってい る。ターム物は1ヶ月が2.5%前後で出合っている以外 は限定的。

NCDも、変動は限定的で、四半期末要因から1ヶ月 から6ヶ月までが2.45%前後で取引され、1年が2.60% 前後で取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	BID	OFFER	
ON	0.24%	0.25%	
1W	0.28%	0.30%	
1M	0.52%	0.55%	
3M	0.80%	0.90%	
6M	0.90%	1.10%	
12M	1.30%	1.60%	

米FRBのパウエル議長等の利上げ加速化に関する発言が相次いだことから、 金利水準は一段と高まっているものの、ターム物の出合いは1ヶ月の0.50%前 後を除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.04%	2.10%	2.38%	2.54%	2.77%
6M	2.13%	2.22%	2.43%	2.63%	2.89%
1Y	2.16%	2.23%	2.63%	2.71%	2.98%
3Y	2.43%	2.63%	3.01%	3.14%	3.60%
5Y	2.58%	2.85%	3.35%	3.52%	4.23%
10Y	2.80%	3.14%	3.70%	3.80%	4.59%

債券市場では、週初にLPRが据え置かれ、米国での金融引き締め加速への懸念が高まったことから、利回りは上昇に転じていたものの、週後半に中国国内でのCOVID-19の感染拡大や国内景気悪化への懸念から金融緩和期待が高まる格好で利回りが低下に転じ、10年国債利回りは2.80%に戻している。

四半期末を控えて総じて小動きとなる中、短期では利率債の利回りが上昇する一方で信用債では低下、長期債利回りは 総じて小幅に上昇する調整相場。これにより、イールドカーブは利率債でフラットニングが一段と進む一方で、信用債は スティープニングに転じている。クレジットスプレッドは中長期でほぼ変化なく、短期では一段と縮小。

	USD / CNY
1W	50.6 / 51.0
1 M	128.5 / 129.9
3M	332.6 / 335.0
6M	560.0 / 563.9
9M	734.0 / 744.0
12M	861.0 / 866.0

対ドル基準レートは6.3739と前週末比+314pipsのドル高元安、対円基準レートは5.2104と同-1359pipsの円安元高と、対ドルではドル高の流れになりつつある。国内市場では、国外投資家の資金動向に注目が集まる中、米国の中国制裁強化や米国の金融引き締め加速により既に縮小している金利差が一段と縮小するとの懸念から6.36から6.38まで緩やかに上昇する展開となった。

先物は、米FRBの利上げ加速による金利差縮小を織り込む動きと国外投資資金流入の減少からスワップ幅の縮小が続いており、1年物は800台半ばまで縮小している。

⑤金利スワップ

並行うパンフン			
	Quarterly	Quarterly	Annually
	7d Repo	3M SHIBOR	O-N SHIBOR
	A/365	A/365 A/360	A/365 A/360
3M	2.22%		1.99%
6M	2.19%	2.42%	2.01%
9M	2.19%	2.44%	2.03%
1Y	2.21%	2.50%	2.05%
3Y	2.38%	2.77%	2.32%
5Y	2.57%	3.03%	
7Y	2.72%	3.20%	
10Y	2.87%	3.37%	

スワップ金利は、国債利回りが上昇し、四半期末要因から短期基準金利も上昇していることから上昇に転じている。 債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、国債利回りの上昇幅が特に短期で大幅だったことから短期を中心 に縮小している。

[◆]本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

[◆]本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

[◆]金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。